



平成23年10月6日

各位

上場会社名 株式会社 プロジェ・ホールディングス
 代表者 代表取締役社長 角田 豊
 (コード番号 3114)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 清永 信朗
 (TEL 03-5367-3841)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,450	9	7	6	0.19
今回修正予想(B)	997	△61	△81	△76	△2.46
増減額(B-A)	△453	△70	△88	△82	
増減率(%)	△31.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年2月期第2四半期)	1,883	36	44	△35	△1.16

平成24年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,200	13	12	0.39
今回修正予想(B)	777	△70	△70	△2.29
増減額(B-A)	△423	△83	△82	
増減率(%)	△35.3	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年2月期第2四半期)	1,540	30	△146	△4.73

修正の理由

(1)【連結】平成24年2月期第2四半期(累計)連結業績予想について

当社および当社子会社(以下「当社グループ」という)の当第2四半期連結累計期間における不動産事業につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、国内経済が多大な影響を受け、景気の不透明感や個人消費マイナムの冷え込みが拭い切れない状況下、モデルルームや現地案内所への集客が落ち込み、「分譲マンション開発事業」「宅地分譲事業」において、予定販売数を下回る状況が続きました。

また、繊維事業を行う株式会社ドーコーボウにおきましても、市況は引き続き低調に推移し、依然として厳しい経営環境が続いております。紡績糸は特殊糸の一部は堅調に推移しましたが、端境期でもあり、また急騰した原綿価格が5月以降下落に転じたことから、先安感から定番品を中心に荷動きが停滞気味に推移いたしました。ニット部門につきましては、震災後の自粛ムードの中、主力定番商品の展示会等の遅れから、前半は発注が低調でありました。また、レディース向けの開発商品で堅調な商品もありましたが、個人消費が低迷する中、メンズ、ベビー向け商品が落ち込みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも計画を下回る見通しとなりましたので、上記のとおり計画を修正いたします。

尚、当社と当社の親会社であるステラ・グループ株式会社(以下「ステラ社」といいます。)は、平成23年9月13日に開催されたそれぞれの取締役会において、平成23年10月21日開催予定の当社臨時株主総会(以下「本臨時株主総会」といいます。)における合併契約書締結承認議案(以下「本議案」といいます。)の承認可決を条件として、当社を吸収合併消滅会社、ステラ社を吸収合併存続会社とする吸収合併に関する合併契約の締結を承認し、同日、これを締結いたしました。本臨時株主総会にて本議案が承認されますと、当社の普通株式は、大阪証券取引所及び名古屋証券取引所の定める上場廃止基準により、平成23年11月25日付で上場廃止(最終売買日は平成23年11月24日)となる予定です。

(2)【個別】平成24年2月期第2四半期(累計)個別業績予想について

上記記載のとおり、不動産事業におきまして、「分譲マンション開発事業」「宅地分譲事業」ともに、予定販売数を下回る状況が続きました。

この結果、当事業年度における売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも計画を下回る見通しとなりましたので、上記のとおり計画を修正いたします。

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上